

碓井中学校区義務教育学校施設整備事業

基本設計書

嘉麻市が求める施設整備の基本方針及び設計コンセプト	0 1
配置計画	0 2
平面計画 1	0 3
平面計画 2	0 4
立面・断面計画	0 5
工事工程	0 6

令和 3 年 8 月
嘉麻市教育委員会

つなぐ学び舎 ～ つながるなかま

I 質の高い教育を実現する学校

(1)
4つの課題等に対応する施設

「学力向上」「不登校解消」「規範意識の醸成」「郷土を愛する人材育成」に加え、「体力の向上」を図る、嘉麻市らしい教育活動を展開していきます。

(2)
新たな教育課題に対応する施設

ICT教育の推進、外国語教育の充実等、今後も変わり続ける教育内容に柔軟に対応しながら教育活動を展開していきます。

(3)
ふるさと嘉麻を心に育む施設

ふるさと嘉麻を胸に社会にはばたく子どもたちを育成するとともに、大人と子どもが関わり合いながら共に成長できる教育活動を展開していきます。

II 地域創造の核となる学校

(4)
地域の資源として機能する施設

地域コミュニティの核となり、住民が集い、活動し、地域文化の継承や発展、生涯スポーツの振興に寄与する場としていきます。

(5)
安全・安心を守る施設

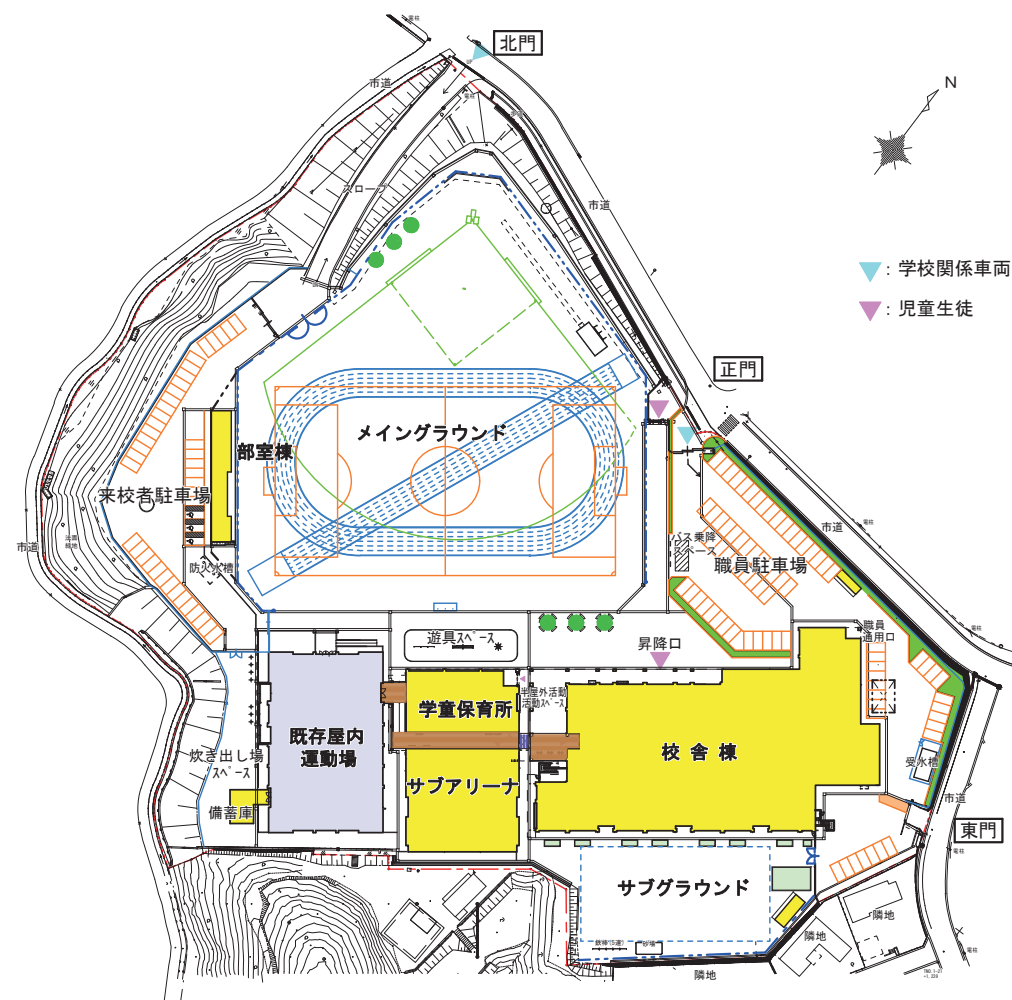
防災の拠点として機能し、児童生徒・地域住民の安全・安心を守る場としていきます。

基本方針を基に、碓井中学校区義務教育学校のコンセプトを以下に設定し、特色のある学校整備を計画します。

- 異学年等の交流により、生徒の精神的発達の間や様々な学習の間を提供し、生徒が主体的に学べる学校
- 地域の防災拠点としても機能し、地域の核となる学校
- 安全・安心な学校

配置計画

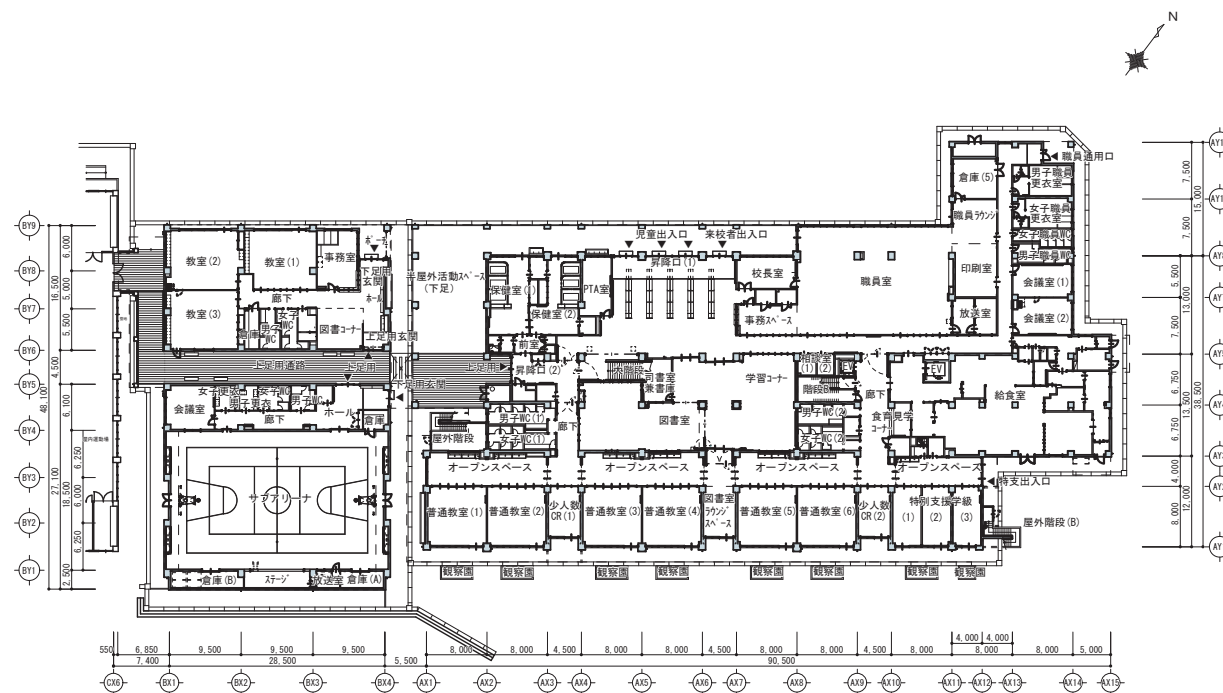
- 歩道を明確に分離することで、児童生徒の安全に配慮した計画とします。
- 正門の正面に昇降口を設けることで、誰にでも分かりやすい配置とします。
- 建物を1ヶ所に集約することで、利用しやすく分かりやすい計画とします。また、各施設の連携が容易で、災害時においても屋内運動場やサブアリーナを中心に、避難施設として活用することが可能です。
- 管理諸室を1階の北側に集約し、正門、グラウンドに面する位置に配置することで、児童生徒の見守りが可能となり安全面に配慮した計画とします。
- サブアリーナ、既存体育館、学校を屋根のある通路で結ぶことで、雨天時の児童生徒の移動が容易です。
- 学童保育所では雨天時に、隣接した半屋外スペースやサブアリーナを、遊び場として利用することも可能です。



平面計画

■ 児童生徒の成長を促し、安全に配慮した計画とします。

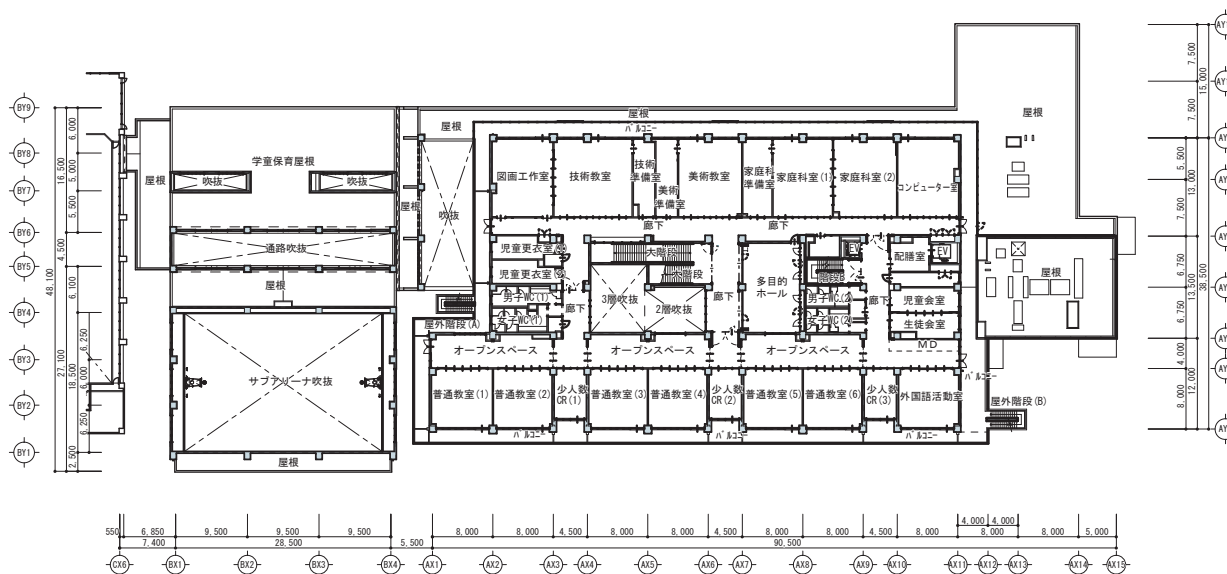
- 昇降口前の大階段から既存体育館までの通路を、スクールプロムナードとして整備します。スクールプロムナードの周辺には活動、休憩スペース等を設けることで、生徒の様々な活動や交流を誘発するように計画します。
- 各階の建物中央に、多目的な交流空間を計画します。1階では昇降口に面し、利用しやすく開放的な図書室を計画します。図書室内には吹抜けを設けることで、上階から視覚的にも異学年の活動が見えるように計画します。
- 各学年のまとまりを独立して計画し、生徒にとって落ち着ける居場所を確保します。
- 保健室は前期・後期過程用の2室を計画します。使い方によって、1室での利用も出来るように配慮します。
- 昇降口に近接して職員室を計画することで、先生と生徒との交流が生まれやすいように計画します。また会議室等を近接させることで、日常的な打合せが容易にでき、連携や情報共有を図ることができる配置とします。



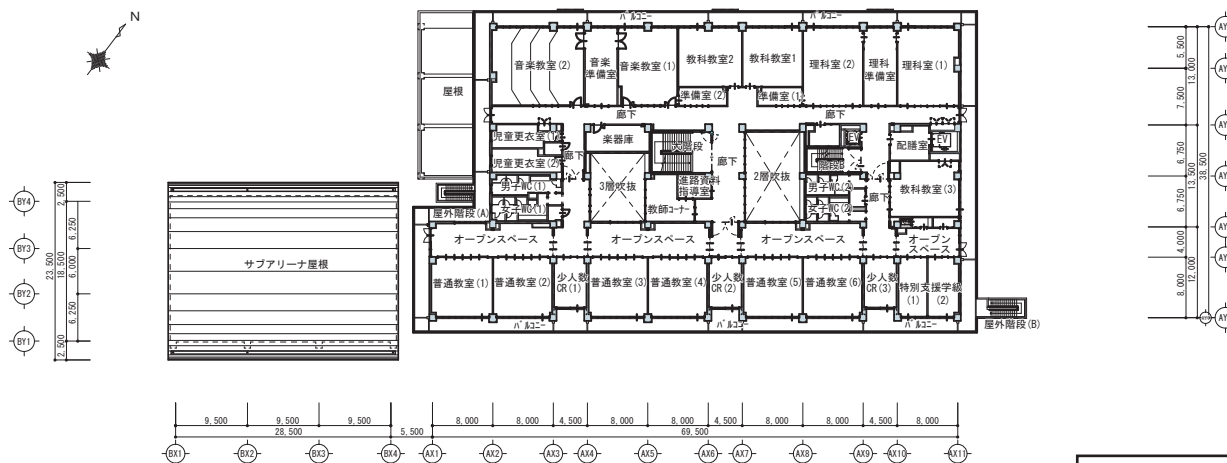
1階平面図

平面計画

- 2階には多目的ホールを計画します。
異学年交流や総合的な学習ができるスペースを計画し、特別教室で製作した作品等も展示できます。
- 3階には教師コーナーを計画します。
進路や学校生活等に対する相談を、先生に気軽にできるように配慮した計画とします。
- 特別教室を2、3階に分散して配置することで、教室への移動時に異学年交流が自然と生まれる計画とします。
- 明快で回遊性のある動線とすることで、死角が少なく分かりやすい計画とします。
- 学年毎のまとまりの間に少人数教室を配置し、個々の教育的ニーズ応じられる場を提供します。
- 屋外と広い廊下に面した、明るくゆとりのあるトイレを計画します。
- 自然採光や通風を確保し明るく開放感のある学校となるよう計画します。



2階平面図

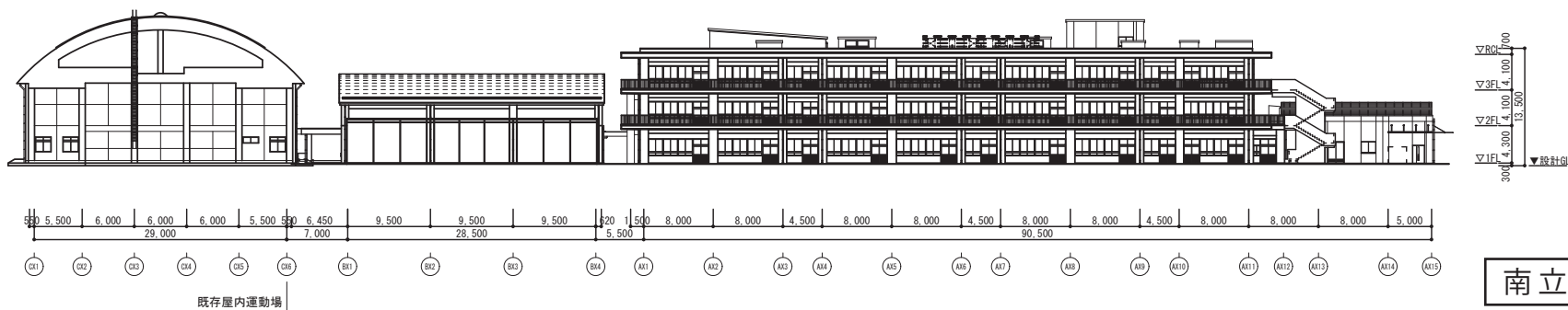
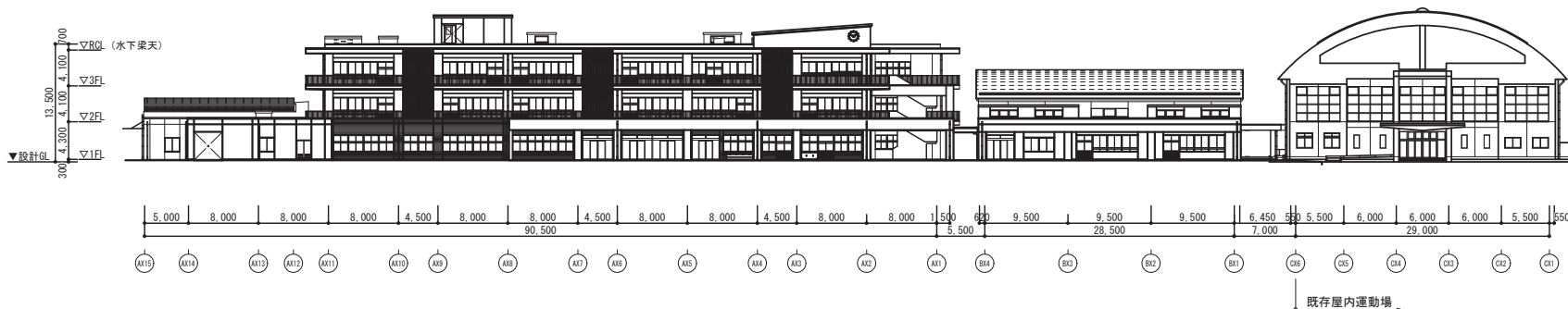


3階平面図

立面・断面計画

■ 周辺環境に配慮し、地域の核となるよう計画します。

- 水平ラインを強調することで、建物が高く見えないように配慮します。
また水平ラインを積層することで、歴史の積層をイメージさせ、小中学校の歴史を受け継ぐ学校を表現したデザインとします。
- 省エネに配慮し、メンテナンスを低減するデザインとします。
各階全周にバルコニーを廻す計画とすることで、外壁の汚れ防止、日射遮蔽に効果を発揮します。またバルコニーにより窓や外壁の清掃も容易です。
- 各教室等の天井高さは、圧迫感がないよう十分な高さを確保します。
- 吹き抜け空間を含む図書室、多目的ホールには、吹き抜け上部の屋上にハイサイドライトを設けることで、建物中央部に自然光を取り込み、通風を確保することで、明るく良好な環境の学校となるように配慮します。
また空間にメリハリをつけた計画とします。



工事工程

